

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272400342		
法人名	有限会社修清		
事業所名	グループホーム宝森		
所在地 (電話番号)	〒037-0305 青森県北津軽郡中泊町中里字宝森291-3 (電話) 0173-69-1192		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 12月 19日	評価確定日	平成 21年 2月 9日

【情報提供票より】(平成20年11月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 12人, 非常勤 0人, 常勤換算	8.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	3,500 ~ 冬期5,000 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 780 円			

(4) 利用者の概要(11月25日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名
要介護3	6 名	要介護4	5 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	81.9 歳	最低	70 歳
		最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	井沼洋クリニック、井沼医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>グループホームの他にも訪問介護や通所介護、障害者用の施設等を設置しており地域における福祉サービスの拠点となっている。代表は、障害者施設での経験を活かし、利用者本位のサービスと地域に根ざした活動に力を入れ、利用者が安心して生活が出来るよう、行政や地域における他の機関との連絡調整を図るとともに、専門職としてのサービスの向上に努めている。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>権利擁護に関しては、地域包括支援センター主催の研修会に参加し、制度の理解を深めていると共に、ホームにて勉強会を開催し職員全員が理解出来るように取り組んでいる。金銭管理は個々の状況報告と共に毎月報告され、介護計画の作成に関しても、利用者の意向・要望がアセスメントされ計画に反映されている。また、個々に合わせた役割等も記載され、日々の生活に反映されている。評価結果は運営者も参加する全体会議にて話し合いが行われ、ホーム全体で業務の改善に取り組む姿勢が見られる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は各ユニットごとに作成され、職員全員が参加されている。職員からは、自己評価の作成により日々の業務の見直しができ、新たに気付くことも多いとの意見も聞かれ、取り組みが職員の意識及び資質向上に繋がっている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議において、ホームの状況報告や自己評価及び外部評価の結果についても報告がなされている。また参加者からの意見収集や質問等にも十分配慮がなされ、一方的な会議にならないように配慮されている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族の面会の際には、ホーム側から積極的にアプローチして意見を引き出せるように努めている。また、家族会も開催されており意見の収集に努め、意見をもとに職員で話し合いが行われ、業務改善に活かされている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホーム独自の夏祭りを開催し、地域の方々が参加されている。また、家族会を開催したり、中学校の職業体験の受け入れ、合同忘年会への地域・家族・利用者の参加など、地域との交流を深める取り組みがなされている。個々の要望に合わせて買い物に出かけたり散歩をしたりと、日常的に地域に出向くように努めている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の運営方針は掲げられているが、ホーム独自の理念が作成されていない。		運営方針をもとに、地域密着型施設としてのグループホーム独自の理念を職員全員で考え作成することを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の運営方針については、朝の申し送り及び会議等の機会に職員に話されており、意識統一が図られている。		個々のグループホームにおける理念を具体化し、職員に伝え日々の業務の中で日常的に話し合っていくことを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	ホーム独自の夏祭りを開催し、地域の方々が参加されている。また、家族会を開催したり、中学校の職業体験の受け入れ、合同忘年会への地域・家族・利用者の参加など、地域との交流を深める取り組みがなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価は、各ユニットごとに職員全員が参加している。評価結果においては、運営者も含めて話し合い、改善に向けて取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、ホームの状況報告や自己評価及び外部評価の結果についても報告がなされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>月に1回は市町村主催の地域ケア会議に参加し、ホームの実情を伝えると共に、相談できる関係作りに努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域包括主催の研修会に参加し、制度の理解に努めている。また、パンフレットを整備し、勉強会を行う等の取り組みも見られている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>マニュアルが作成され、勉強会も行われており、全職員に周知・徹底がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時には重要事項説明書にて十分説明がなされている。看取りに関する事項についても十分説明するなど、家族の不安を軽減するように取り組んでいる。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>3ヶ月に1回は広報を配布し、月に1回は個々の家族に対して状況を報告している。金銭においても、状況報告と共に家族に伝えている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会が定期的で開催されており、家族の意見が引き出されるように取り組んでいる。また、家族の意見をもとに全職員で話し合いの機会が持たれ運営に活かされている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動による弊害については、運営者、管理者も十分理解されており、必要最小限に抑えられている。新しい職員が業務に入る際には、入居者が不安にならないように職員と行動をともにして、徐々に慣れてもらう様に配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修には、職員の経験等において平均的に参加できるように配慮されている。また、研修参加後は研修内容が全職員に行き渡るように、報告会が開催されている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会主催の研修会に積極的に参加され、交流会を通じて他事業所との交流を深めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、ホームから自宅に出向いたり、ホームを見学して頂いたり馴染みの関係作りに配慮がなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理を共に行ったり、漬物を共に作ったりと、共に過ごす時間の大切さを理解し業務にあたっている。入居者から味付けを教わったり、漬物の分量を聞きながら行う等、入居者を中心とした生活場面を作る工夫がなされている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>意思表示が上手く出来ない入居者に対しては、家族から生活歴など情報収集しアセスメントしている。職員は、日常的に表情や会話の中から本人の思いをくみとる姿勢で業務にあたり、日々の生活に活かされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>独自のアセスメント様式を使用し、職員全員でカンファレンスを行い計画が作成されている。また、現在センター方式にも取り組んでいる。計画には、個々の役割や生活に関する事項も記載され、日々の生活に活かされている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>月に1回、評価が行われている。また、日々の業務中の出来事や様子、状態の変化に応じて、随時、会議を開催して見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>個々に応じて受診の送迎や付き添い、希望時の外出支援、看護師による健康管理など機能を活かした柔軟な対応がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前より診て頂いているかかりつけ医を、殆どの入居者が継続されている。状態に応じて、主治医変更する場合には、家族、本人と十分に話し合い、同意を得てから変更している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時、看取りに関して指針をもとに説明が行われ同意を得ている。ターミナル対応の実績もあり、状況に応じて、すぐに診てもらえる体制が出来ている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	マニュアルが作成されており、勉強会も行われ職員に対して周知徹底されている。職員全員から個人情報についての誓約書も同意のもと取り交わしている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課については、ある程度は決められているが、個々に応じて柔軟に対応できている。買い物や散歩等、個々の希望に合わせた外出にも対応できている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>調理、準備、後片付けなど、それぞれの出来る部分を把握して共に行っている。献立は職員が作成したものを栄養士が確認し、また月に1回の嗜好調査を行って個々の好みにも対応できている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回は入浴が行われているが、希望に応じていつでも入浴できる体制が出来ている。また、夏にはシャワー浴が可能な体制が作られ、個々の希望に合わせて対応できている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>生活歴や趣味、出来そうなことなどが細かくアセスメントされ、個々の能力、嗜好に合わせた役割・楽しみごとを持てるように支援が行なわれている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>入居者の希望に合わせて、散歩、買い物、ドライブなど、なるべく屋外で過ごせる時間を確保している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、勉強会を開催し職員全員に周知・徹底がなされている。実際の業務において、やむを得ない場合には十分な説明と納得のもとに同意書を頂いている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ施錠している。職員は、日々の生活の中から個々の行動パターンの把握に努め、必要に応じて外出に付き添うなど柔軟に対応している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署の立会いのもと防災訓練が行われている。また年2回開催されている救急救命講習にも職員全員が受講されている。運営推進会議にて議題にも上げられ、ホームの防災訓練についての報告をするなど、地域の協力が得られるように取り組んでいる。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事・水分摂取量が記載され、献立も栄養士が定期的に確認している。個々の状況に応じて嗜好品を取り入れるなど工夫している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症の対応マニュアルが作成され、勉強会が行われている。医師、看護師の助言も得られ都度見直しが行われている。インフルエンザの予防接種は毎年全員実施され、日常の業務に対しても手洗いを励行するなど感染症予防に努められている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間には、食事を準備する音や匂いが生活感を感じさせている。装飾も季節感のあるものを意識的に活用している。共用空間にはテーブル、椅子が設置されている他、離れた所にも椅子が置かれ、思い思いに過ごせる空間も確保されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、各々がこれまで使用してきた家具等が持ち込まれている。花や写真が飾られていたり落ち着いた生活できる環境が作られている。</p>		

 は、重点項目。